

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式									
E111C009	体育(小)(Physical education (elementary school))															
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員										
必修	2	1	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 谷口勇一、田端真弓 E-mail 内線 谷口7628、田端7630										
授業の概要	子どもの運動発達や体育授業に関する意識について学習した上で、小学校体育の運動領域のうち、主として陸上運動系、ボール運動系を中心にその技能を高めるために体育実技を行う。															
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
目標1	短距離走・リレー、ハードル走及び走り高跳びを中心とした走・跳の運動ができる。															
目標2	バスケットボールにおけるドリブル、パス、シュート、ピボットなどの各種のボール操作、基本的な運動ができる。															
目標3	各種の運動を通じて、安全に配慮しながら活動・参加しようとする。															
目標4	各種の運動を通じて、自らの技能の課題を立てて解決しようとする。															
目標5																
目標6																
目標7																
目標8																
目標9																
目標10																
授業の内容																
1	子どもの健康課題(食に関するものを含む)、運動発達と体育授業に関する意識															
2	短距離走・リレー(1)															
3	短距離走・リレー(2)															
4	ハードル走(ハードリング)															
5	ハードル走(インターバル)															
6	走り高跳び(踏切から着地)															
7	走り高跳び(助走から踏切)															
8	シュート(1)															
9	シュート(2)															
10	ボール操作(ドリブル、パス)															
11	ボール操作(ピボット)															
12	ミニゲームの実践(3 on 3など)															
13	ディフェンス															
14	ゲームの実践(1)															
15	ゲームの実践(2)															
ラック ニテン イ ゲ	A:知識の定着・確認 B:意見の表現・交換 C:応用志向 D:知識の活用・創造	グループでの作戦に関する意見交換・交流 各種運動技能に関する意見交換、課題設定、振り返りレポート(最終課題で改めてまとめる)				工 夫 そ の 他 の										
時間外学修の内容と時間の目安	準備 運動に向けた技能の理解(0.5h) 学修 各種運動に関するルールの理解(0.5h) 事後 運動を通じた技能の振り返り(0.5h) 学修 各種運動を通じた最終課題(0.5h)															
教科書	教科書は指定しない															
参考書	文部科学省、『小学校学習指導要領 解説 体育編』、平成29年文部科学省、『小学校学習指導要領解説 体育編』、平成20年清水由、『運動と指導のポイント 陸上』、大修館書店、平成20年清水由、『運動と指導のポイント ボール』、大修館書店、平成22年															
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10				
	実技テスト(陸上運動系)	40%														
	実技テスト(ボール運動系)	40%														
	最終課題	20%														
注意事項	運動のできる服装で参加すること。															
備考	実施内容に応じて、授業実施場所が異なる、授業内でなされるアナウンスをよく聞いておくこと。															
リンク	URL															